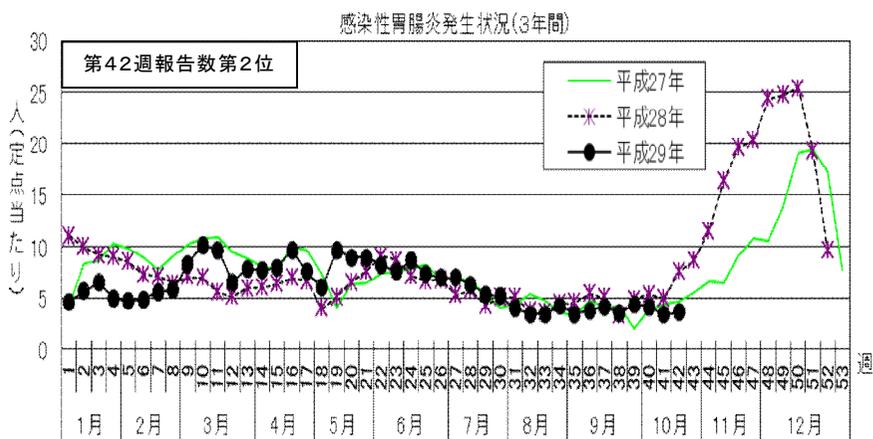
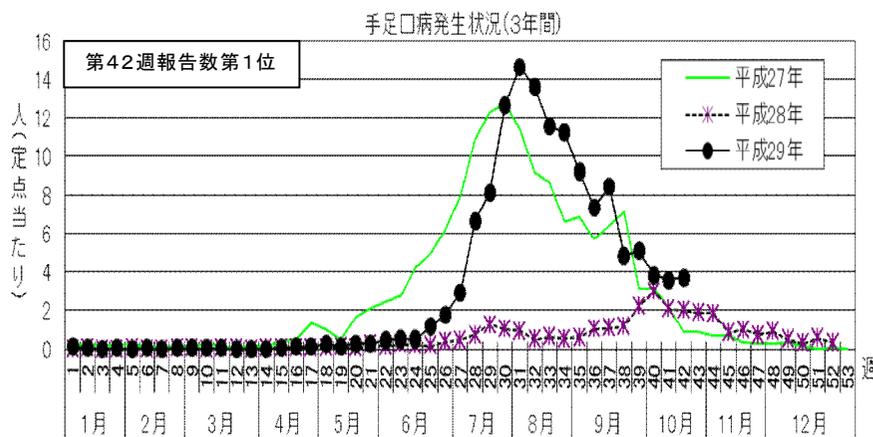


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年10月16日（月）～平成29年10月22日（日）〔平成29年第42週〕の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は3.68人と前週（3.57人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.57人と前週（3.38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.16人と前週（1.78人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

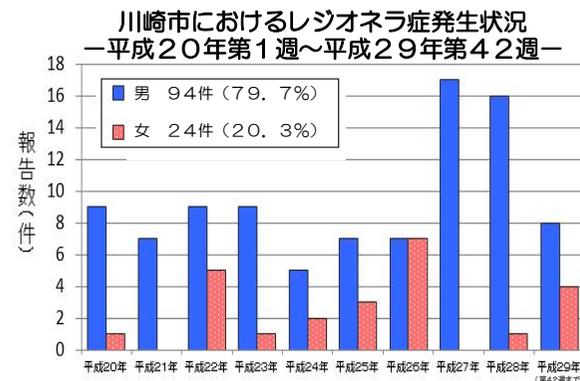


## 知っておきたい感染症～レジオネラ症～

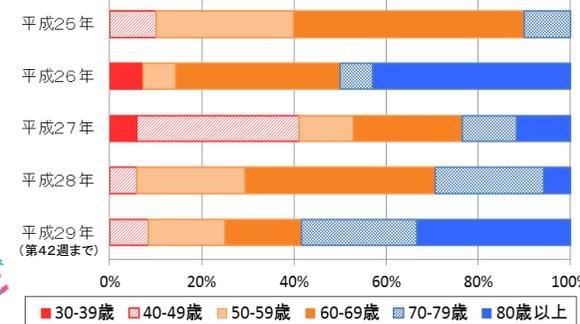
レジオネラ症は、水中や土壌中など自然界に広く生息しているレジオネラ属菌を原因とする感染症です。

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（空气中に浮遊している粒子）を吸入することにより感染しますが、特にレジオネラ肺炎は進行が早く、死にいたることもあります。

川崎市におけるレジオネラ症の報告数は、男性が全体の約8割を占めており、年齢階級別では特に50歳以上が多くなっています。



川崎市におけるレジオネラ症年齢階級別発生状況  
—平成25年第1週～平成29年第42週—



### レジオネラ肺炎について

【潜伏期間】 2～10日

【症状】 発熱、咳、呼吸困難、下痢、意識障害等

【家庭で気をつけたいこと】

浴槽のお湯や加湿器の水等は新しいものを使用し、清潔を保ちましょう。また、高圧洗浄等、エアロゾルが発生する作業ではマスクを着用しましょう。

